

東南村山 おいしい米づくり情報

第 9 号 適期刈取り 編

発行：令和 8 年 8 月 2 1 日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部

村山総合支庁農業技術普及課

(TEL：023-621-8295)

圃場ごとに登熟の進み具合をよく確認し、適期を見極めて刈取りを行いましょう！

管内の出穂期は、平坦部「はえぬき」「雪若丸」8/2 頃、「つや姫」8/7 頃と平年並みです。今年では移植の早い圃場では出穂が早いものの、出穂にばらつきや穂揃いが悪い圃場が見られます。

作柄診断圃の穂揃期の生育状況

○作柄診断圃は、いずれの品種も平年より穂数が多く、 m^2 当り粒数は多くなっています。

表 生育診断圃の穂揃期の生育状況(8/17 現在)

品 種	調 査 地 域	年 次	出穂期 (月/日)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒/本)	総粒数 (百粒/㎡)
はえぬき	山形市羽黒堂	本 年	7/27	574	70.5	405
		平 年	7/30	519	70.0	363
		平年比・差	-3	114	101	112
雪若丸		本 年	7/30	609	51.8	315
		平 年	7/31	526	61.0	320
		平年比・差	-1	121	85	98
つや姫	山形市南石関	本 年	8/3	513	70.8	363
		平 年	8/6	423	75.5	319
		平年比・差	-3	129	95	114

※移植日は「はえぬき」5/14、「雪若丸」5/17、「つや姫」5/15

出穂後積算気温と刈取時期の目安

○刈取りは出穂後積算気温を目安にし、品種、圃場ごとに、**青粒歩合（15～20%）、
粒水分（25%以下）、枝梗の黄化、倒伏程度**等を加味して、総合的に判断しましょう。

○玄米肥大の促進と胴割粒発生軽減のため、落水は出穂後 30 日以降を目安とします。早期落水は厳禁！

表 出穂後積算気温による刈取適期の目安（平坦部）

品種	出穂期 ^(注1)	刈取適期の 出穂後積算気温の範囲	刈取適期の目安日		刈始めの 青粒歩合
			始	終	
はえぬき	8/2頃	950～1,200℃ ^(注2)	9/11	9/22	20%
雪若丸					15～20%
つや姫	8/7頃	1,000～1,200℃ ^(注2)	9/19	9/29	15%

注 1) 出穂期は 5/20 頃に移植した場合。

注 2) 8/21 までの日平均気温は本年値、8/21 以降は予測値を反映（アメダス山形値）。

○ 今年では出穂後 30 日間の平均気温が 25℃未満のため、高温登熟にはあたりません。

最新の積算気温表は、
LINE に掲載しています！
QR コードを読み込んで
グループ登録をして下さい。

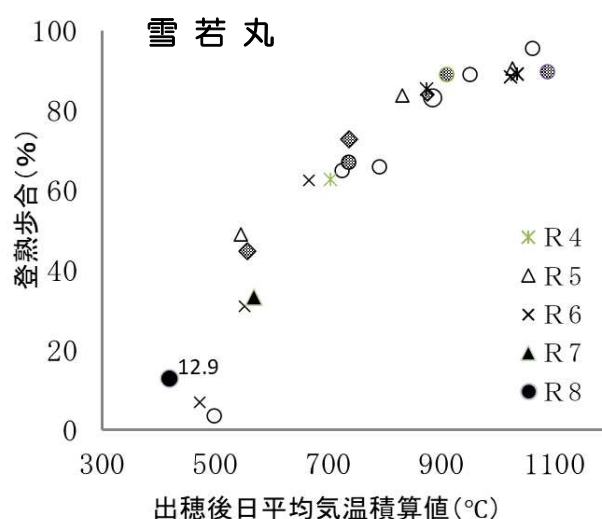
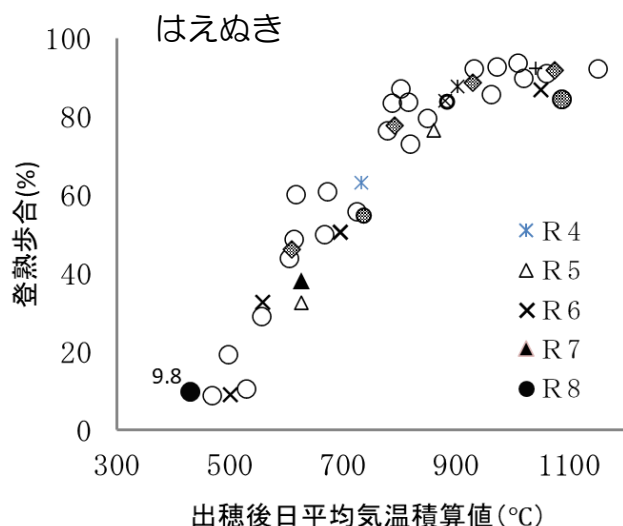


稲作情報

作柄診断圖の登熟調査結果（8月17日現在）

品種	出穂日	出穂後積算気温	登熟歩合
はえぬき	7月27日	429℃	9.8%
雪若丸	7月30日	418℃	12.9%
つや姫	8月3日	324℃	-

【出穂後積算気温と登熟歩合】



- 出穂後の気温は平年並みで、籾数が多いため登熟の進みはやや緩慢です。一方、積算気温から見た登熟歩合は平年並みです。早めの準備で適期収穫に努めましょう！

乾燥・調製は慎重に！

- 収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風・循環を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。
- **高水分籾（水分 25%以上）を急激に乾燥すると胴割れしやすくなるので注意が必要です。**
また、青籾が多い（籾水分のバラつきが多い）場合は、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。
- 籾摺り前に籾温や籾水分を確認し、必ず試し摺りをして、肌ずれ米を防ぎます。
- 立毛中で胴割れが多いと予想される場合は、通常を送風温度より **5～10℃低めの送風**を行い、**毎時乾減率 0.6%以下**とし、胴割れの増加を防ぎましょう。
- **良質米生産のために、1.90mm 網目(LL)以上、雪若丸は 1.95mm網目(GL)で選別します。**

「ゆきまんてん」のロゴマークが決まりました！

山形の米作りに欠かせない、「太陽・自然・水」を“赤・緑・青”で表現し、「ゆきまんてん」の白さをイメージさせる雪だるまのシルエットをデザインしています。10月10日、プレデビューです。



秋の農作業事故防止運動が始まります（9月1日～10月31日）
農作業事故と熱中症に十分注意して作業しましょう！